



## 4年生 穂高クリーンセンター見学

6月5日（金）、4年生が社会科「住みよいくらしをつくる—ごみのしよりと利用—」の学習で、穂高クリーンセンターを見学しました。

穂高クリーンセンターは、6市町村（安曇野市・池田町・松川村・生坂村・筑北村・麻績村）で構成する穂高広域施設組合が運営する、し尿処理施設・ごみ処理施設・余熱利用施設（あづみ野ランド）の総称です。し尿処理施設・ごみ処理施設を総称といいます。

集めてきたゴミをパッカー車からゴミピットに落とす様子や制御室から大型クレーンでゴミをつり上げる様子、焼却炉内部の炎の様子などを見学し、大きな施設でのゴミ処理の様子に驚きを持ちながら、興味深く学習でき



ました。

また、事前の学習では、毎日学校から出るゴミを処理してくださっている藤原先生に教室に来ていただき、実際の作業の様子をお話しいただきました。わたしたちの身近な生活にかかわることについて、さらに学習していきます。



## ようこそ麻績小学校へ

湯本 早紀 （ゆもと さき）先生

6月15日（月）より新しい先生をお迎えしました。湯本先生は大学で小学校教員免許を取得し、現在も別の免許取得を目指しています。好きなアニメーションなど小学生の皆さんと話が合うことが多いと思います。各学級の授業に入ってください、担任と共に支援をしていただきます。

## 各種相談窓口のお知らせ

毎日の登校が始まって間もなく一ヶ月になります。子どもたちの元気な声が響く学校で働くことができることのありがたさを感じる日々です。さて、お子様の1か月の様子はいかがでしょうか。学校では、お子様・保護者の皆様の様々な心配事・悩み事をいつでも相談していただけるように相談窓口を設置しています。担任を通さず直接担当までご連絡いただいても構いません。お気軽にご相談ください。

### ■校内相談窓口（セクハラ・パワハラ相談窓口） 担当：養護教諭（山崎みはる）

からだや健康のこと、友だちとのこと、学校生活のこと、家庭生活のこと、心配な事や悩み事をお話ください。保護者の方だけではなく、お子様が直接保健室に来室しても大丈夫です。

### ■スクールカウンセラー相談窓口 担当：教頭（高野恵理）

県より月に1回程度スクールカウンセラーが派遣されます。本校の担当は、昨年に引き続き 小田切 なをみ（おだぎり なをみ）先生です。

カウンセリングは7/7、7/21、9/8、10/13、11/10、12/1、12/22、1/19、2/9を予定しています。お子様のカウンセリング、保護者の方のカウンセリングどちらでもできます。カウンセリングご希望の方は、担当までお問い合わせください。

## 子どもたちの目（芽） その2

Aくんに教えてもらった卵は27日までに全てが孵化した。卵が破れて幼虫が生まれ出る瞬間は目にすることができなかったが、オレンジ色で内側に二つの黒い斑点が見えるちっちゃいドラゴンボールみたいな卵が、黒っぽく変色し、しばらくすると小さな黒っぽい幼虫が生まれる数時間の一連の流れを観察することができた。

5月28日、ミカンの木にカラスアゲハがやってきた。木の回りを飛び、時折葉や枝にとまっては、また飛び回っていた。恐らく卵を産み付けに来たのだろう。時間をかけていなくなったと思えばまたやってきてミカンの木のまわりをくまなく飛び回る姿は、5月13日に卵を産み付けたであろうアゲハのお母さんが、2週間たって無事に子どもたちが生まれたかどうかを心配



し、一つ一つの産み付けた場所を回りながら、無事生まれてきた子どもたちを確かめに来ているようにも思えた。

その後、そのアゲハは空いていた窓から校長室に入ってきたのである。まさに、「わたしの子どもたちをよろしくお願いします。」と頼みに来たのではないかと思えた。そして、しばらく校長室をふわふわと飛んでアゲハは窓の外に消えていった。

Aくんと一緒に大事に見守っていこうと改めて思ったところである。

### 子どもたちの目（芽） その3

6月1日、アゲハの幼虫は週末を経て一回り大きくなり、体長は既に1cmを超えた。順調に大きくなっていると同時に、ミカンの若葉に穴が空いて食べられた跡が目立つようになった。そして、直径が1mmほどの薄黄緑色の卵が数個目にとまった。私にも、アゲハの卵が見える目が育ってきたようでうれしい。

### コンコン こっちこっち

6月1日、3時間目、教頭先生と職員室で話していると、外からガラス窓を「コンコン」とノックする音がしました。見ると1年生のBくんです。「どうした？」と外に出てみると、「こっちこっち。」と手招きするBくん。「この紙の下に、この葉っぱを置いて、鉛筆で写したいんだけど、これもらってもいいですか。」と私に尋ねたのです。「いいよ。」と答えると、そのボタンの葉を一枚取っていきました。誰もが子どもころやった経験がある「こすり出し（フロッタージュ）」です。どんな模様が浮かび上がったかな。

このBくんの姿にはちょっと驚きました。ちゃんと先生に許可を得てから葉を取るという行為は、なかなか1年生ではできないことではないかと思うのです。よその物を黙って取るのはどろぼうと一緒にだから、ちゃんと許可を得なきゃいけないと、教えてもらって、それをきちんとできるのだと思います。もしかすると植物の命を思い、取ってしまうことに申し訳なさを感じていたのかもしれない。立派です。

職員室に戻ってそのことを話すと、新海先生が「Bくんは、このあいだ給食の先生に、お手紙を書いて渡していましたよ。」と話してくれました。やさしい心がBくんの姿に表れています。